

# 感染症速報

作成日: 令和6年4月5日

第13週 3月25日 ~ 3月31日

<http://www.pref.nagasaki.jp/department/iki-h/index.html>

状況	疾患名	状況	疾患名	状況	疾患名	状況	
							定点当り
インフルエンザ	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		
警報開始30 終息10	7.3	警報開始 - 終息 -	0.0	警報開始3 終息1	1.0	警報開始8 終息4	0.0
感染性胃腸炎	水痘		手足口病		伝染性紅斑		
警報開始20 終息12	0.0	警報開始2 終息1	0.0	警報開始5 終息2	0.0	警報開始2 終息1	0.0
突発性発しん	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		新型コロナウイルス感染症		
警報開始 - 終息 -	0.0	警報開始6 終息2	0.0	警報開始6 終息2	0.0	警報開始 - 終息 -	4.0

	発生報告なし		少数の発生あり		流行に注意 【注意報レベル】		流行中 【警報レベル】
--	--------	--	---------	--	-------------------	--	----------------

警報レベル基準値は表示のとおり(は設定なし)、注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

## お知らせ

### インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症について

インフルエンザの2024年第13週の定点当たりの報告数は「7.3」で、前週「15.0」より減少し、警報レベルは終息基準となっています。県は「11.54」と警報レベル終息基準を上回っており、年度末年度初めの人の移動が多くなるため、引き続き注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は「4.0」でした。

今後も手洗い、手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管轄別)										
	県	佐世保市	長崎市	杵岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	11.54	8.91	17.71	7.33	7.83	11.20	18.75	13.25	1.00	0.67	2.33
新型コロナウイルス感染症	5.41	2.36	5.12	4.00	3.67	3.60	7.00	8.25	2.00	8.00	23.00

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌を原因とする上気道の感染症です。概ね2～5日の潜伏期間の後に、突然38以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌等の症状を呈し、しばしばおう吐やおう気を伴います。3歳以下では、鼻炎症状や発熱、不機嫌、食欲不振等の症状を呈します。多くの場合、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」に移行することがあります。合併症には肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などがあります。

主な感染経路 患者の咳(せき)やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」により感染します。

#### 感染防止対策のポイント

- こまめに手を洗いましょう。
- 普段から一人ひとりが咳エチケットを心がけましょう。
- 流行時には、マスクの着用も有効です。
- 《咳エチケット》～感染拡大を防ぐために～
- せき・くしゃみの症状がある時は、マスクをしましょう。
- せき・くしゃみをする時は、口と鼻をティッシュでおおきましょう。
- せき・くしゃみをする時は、周りの人から顔をそらしましょう。

### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症について

溶連菌咽頭炎については、2023年10月以降、過去10年間で最大規模の流行が起っていましたが、劇症型溶血性レンサ球菌感染症についても、昨年一年間の全国での届出報告数は941人(速報値)であり、1999年に統計をとりはじめて以降、最多であった2019年を上回りました。また本年も、3月17日時点の全国での届出報告数は517人(速報値)と、例年と比較して多い傾向が続いています。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、レンサ球菌による感染症です。通常は、レンサ球菌に感染しても無症候のことも多く、ほとんどは咽頭炎や皮膚の感染症にとどまります。しかし、稀に通常は細菌が存在しない組織(血液、筋肉、肺など)にレンサ球菌が侵入し、急激に症状が進行する重篤な疾患となることがあります。小児が多く罹患するA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは区別されます。感染症法上は、5類全数報告疾患となっており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届出が必要です。

参考: 国立感染症研究所 国内における劇症型溶血性レンサ球菌感染症の増加について (niid.go.jp)

